

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394700039
事業所名	グループホーム いわくらの泉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入し、区長や回覧板から情報を得ている。状況により入居者の参加を自粛している行事もあるが、事業所内の草取りや清掃活動の継続や4年ぶりに地域の盆踊りに参加するなど徐々に交流の機会を多くしている。また、ボランティアの受け入れの再開や小学生の校外学習では子どもたちと触れ合う貴重な交流をしている。今後、さくら祭りの参加や地域の商店、飲食店など入居者と共に以前利用していた支援の復活を目指している。自販機を設置して近所の方と触れ合う場としたり駐車場の一部を貸し出すなど繋がりを大切にしたい暮らしに努めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	家族代表、区長、民生委員、包括支援センターや市職員に開催案内を出している。会議は状況に応じ書面や対面で二部制にするなど工夫をしながら年6回運営推進会議を開催している。運営状況や活動内容、ヒヤリハット、事故報告、更に入居者の生活の様子は各ユニットごと詳細に報告しをしている。特に新型コロナの情報や面会の対応については毎回報告している。また、書面開催の場合は返信用封筒を同封して意見や提案等を聴取し次回議事録に回答を記載した丁寧で明確な議事録は家族も心待ちにしている。参加者からの意見や提案等は、必要に応じ会議などで協議しサービスの向上に活かしている。会議録は、参加者や家族全員に郵送している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市の担当者は運営推進会議に参加し情報交換をしている。状況に応じてメール等で連絡を取り合い、情報やアドバイスを得ている。必要に応じて、申請の代行業務などで向き報告や相談、サービスの内容などを伝えている。「のんぼリネット」に登録し、多職種間とのスムーズな連携体制により質の高い医療や介護サービスの提供に繋げている。市主催の「郷土、ゆめ、ふれあい祭り」では、入居者の作品を毎年展示し、地域に向けてPRしている。岩倉市内の事業所交流会や連絡協議会に参加し意見交換を行っている。相談員の訪問に合わせ市の担当者が来所し良好な協力関係を築いている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞いている。家族からは面会時や家族ノートを利用したり必要に応じアンケート調査を行うなどして意見や要望を聴取している。聞き取った意見は職員に開示し会議等で検討して職員間で情報を共有し、ケアや業務改善に役立てている。家族には入居者の暮らしの様子の写真や担当職員からの日常の様子とコメントを載せた「絆だより」を毎月発刊し、家族に安心感を届けている。固定電話以外に携帯電話を各ユニットに置き、電話やショートメールなども利用し連絡を密にしている。コロナウイルス感染症についても必要に応じて情報の提供を継続して発信している。利用者アンケートは、今年度も家族からの信頼度が高く、サービス内容全般において高い評価が得られている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

運営推進会議については、状況に応じ書面や対面で二部制にするなど工夫をしながら年6回運営推進会議を開催している。書面開催の場合は返信用封筒を同封して意見や提案等を聴取し次回議事録に回答を記載した丁寧で明確な議事録は家族も心待ちにしている。コロナウイルス感染症対策を取りながら今まで制限されてきた、家族との面会や外食、外泊、法事、ボランティア活動などを徐々に再開しながら絆が途切れないような支援に心がけている。また、地域の盆踊りに参加できたことで、風情を思い起こし楽しむ機会となった。今後は入居者一人ひとりの希望に沿った外出支援や季節の花見、空港や成田山にドライブなど遠出の外出や喫茶店、外食などの支援ができるよう機会を計らうようにしている。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎	○							